

しゅうっ子教室

～地域で子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 日本の伝統文化の伝承。
- 音楽に合わせて、踊る・舞・叩くことで、表現力を高め、協調性を養う。
- 地域の方が講師となり、様々な体験を行い、子どもと地域のつながりを図る。

活動場所	小学校 多目的スペース	対象学校区名	周布小学校	活動のべ 日数	9 日	子どもの平均 参加人数	10 人/日
------	----------------	--------	-------	------------	-----	----------------	--------

取組の概要

<主な取組内容>

- **ダンスで表現**
 - ・よさこい踊りの学習・ダンスの基礎を学習する
 - ・1曲は踊れるようになる。
 - ・学習したダンスを発表する(文化祭等)
- **和の表現**
 - ・日本の伝統の着物と踊りの学習
 - ・着付けや作法の学習
 - ・日本舞踊の基礎を学ぶ
- **音を使って表現**
 - ・和太鼓についての学習
 - ・リズムに合わせて、和太鼓を叩く
 - ・1曲は叩けるようになる

開催日	時間帯	活動内容
8月26日	14:00～16:00	和太鼓体験
9月16日	14:00～16:00	よさこい踊り体験 (台風の為中止)
9月30日	14:00～16:00	よさこい踊り体験
10月21日	14:00～16:00	よさこい踊り体験
10月28日	14:00～16:00	よさこい踊り体験
11月18日	14:00～16:00	日本舞踊体験
11月25日	14:00～16:00	日本舞踊体験
12月9日	14:00～16:00	日本舞踊体験
12月16日	14:00～16:00	日本舞踊体験
1月20日	14:00～16:00	和太鼓体験

<児童・生徒の感想>

- ・楽しかった。よさこい踊りは文化祭で発表が出来ました。
- ・初めて日本舞踊を踊りました。着物が着られてよかったです。
- ・「いろいろな体験をすることで、家で会話が増えました」保護者の方より



【よさこい踊りの体験】
音楽に合わせてのダンス

<特色ある取組>

- 「日本舞踊の体験」では、着物や浴衣の着付けを行うことから体験が始まります。
5・6年生は、自分ができるところまで着物を着ます。
低学年は、地域のコーディネーターの方の協力で着物を着ます。
はじめにあいさつの仕方・歩き方・座り方と作法の基本を体験します。
4回の体験でしたが、子どもたちは「さくら」の曲に合わせて舞うことが出来るようになっていました。



【日本舞踊の体験】
「はじめます」のあいさつ

事業を実施して

【成果】

- 表現力については、積極的に話が出来たり、意見をいうことが出来るようになった。(全体)
- 文化祭での発表という目標を持って出来たので、1曲踊れるようになり、達成感を味わうことが出来た。

【課題】

- 参加人数の確保が難しい。
- 子どもたちが体験したことを保護者の方に発表する機会があるとよい。